

■ギャフンおち

俺用語としてもっとも広まった表現ではないか。物語の最後があっと驚く大どんでん返しの場合に使う俺的表現。単なる尻切れトンボとか、誰が見ても破綻しているオチは正式には「ギャフンおち」として認定していない。あくまでも「そりゃねーだろ？」と言わせつつも整合性はとれていることが最低条件である。俺はあまりミステリを読まないのだが、ミステリの世界ではどんなに意外なオチがきてもギャフンの領域にはいかないのではないかとと思っている。つまりこれはS Fが得意とするオチの技法なのではないかと思うのだが。代表的なところで『逆転世界』『蜂工場』がある。